



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 3月31日
 期末配当金 3月31日
 中間配当金 9月30日
 (中間配当を実施する場合)
株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都港区芝三丁目33番1号
 中央三井信託銀行株式会社 本店
 〒168-0063
同事務取扱所 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 (お問い合わせ先) 証券代行事務センター
 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
 TEL 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同取次所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
公告方法 電子公告。ただし、事故その他やむを得ない事由
 によって電子公告による公告をすることができな
 い場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方
 法とする。
公告掲載
サイトアドレス <http://www.slc.jp>



株主通信 第40期 報告書

2007年4月1日から2008年3月31日まで

ホームページのご案内

当社では、会社案内、IR情報など豊富なインフォメーションを掲載しております。
 今後も株主・投資家の皆様に向けて情報を迅速に提供してまいりますので、どうぞ
 ご利用下さい。



<http://www.slc.jp>



システム・ロケーション株式会社





私たちの使命は、
「自動車ファイナンス事業者のベストパートナー」として
社会に貢献し続けることです。

自動車ファイナンス事業のプロジェクトイノベーション企業として

自動車ファイナンス事業の業務サポート企業として

自動車ファイナンス事業のシステムインテグレート企業として

トップインタビュー

システム・ロケーション株式会社は1992年に自動車ファイナンス事業者への業務支援会社として創業し1993年にはリース契約期間を終了した自動車を集荷しオークションを運営することで事業の礎を築いてきました。
千村岳彦社長に事業と今後の業績について語っていただきました。

Q 事業戦略についてお伺いします

オートリース会社と共に成長してきました

当社は、リースアップ車（リース期間が満了した車）のオークション運営から事業をスタートさせました。

従来、オートリース会社はリース期間が終わった車の売却に困っていました。中古車市場ではリースアップ車は殆ど流通しておらず取引されても価格は購入者の言い値で取引されていました。

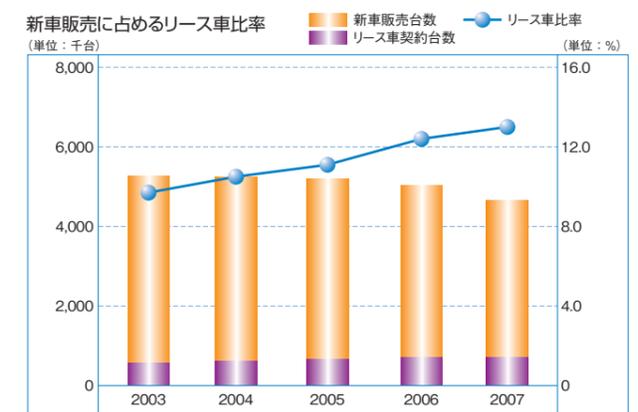
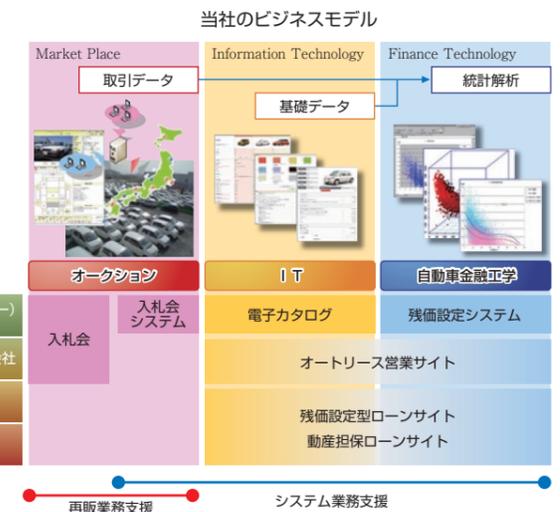
当社のオークションの特長は出品者がオートリース会社、落札者は中古自動車販売会社に限定し、事前に審査を経た会員企業のみが参画しています。

全国10ヵ所のオークション会場で年間150回のオークションを行っており、落札率（オークションに出品された車に値がつき引き取られること）は平均95%、その内70%が輸出されています。



代表取締役社長 千村岳彦

当社のオークションは車両保管ヤードへの入庫確認、車両状態の査定、入札の値動き、落札結果などの情報をインターネットから確認することができます。
これらのオークションは当社が直接運営するものとオートリース会社から運営全般を請け負うケースがあります。



資料：日本自動車リース協会連合会HPより

トップインタビュー

自動車販売をサポートしています

昨年夏ころから自動車メーカーが新しい販売ツールとして「残価設定型ローン」の積極展開を始めています。この残価という考え方は、購入した自動車を将来売却（下取）する時いくら「価値」が残されているかというものです。たとえば、100万円の自動車の3年後の価値が30万円と見込まれる場合、あらかじめ30万円を引いた価格でローンを組む、それが「残価設定型ローン」です。

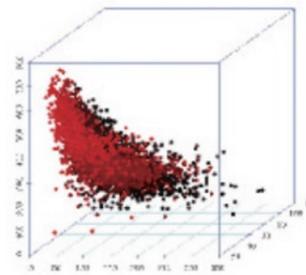
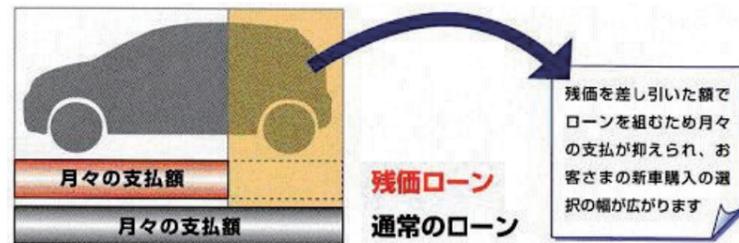
このローン商品は、月々の支払いが抑えられるためユーザーの新車購入の選択の幅が増えると同時に、3年後には確実に中古車市場に戻ってきます。

つまり、7年と言われる代替サイクルが大幅に短縮されるため新車販売→中古車市場→再販市場の活性化の好サイクルが実現します。

「残価設定型ローン」には膨大な車両情報や市場動向データをもとにした信頼性の高い残価の算出が求められており、いわば自動車金融工学とも称すべきもので当社が独自に開発した「残価設定システム（商品名：RV Doctor II）」が組み込まれています。



残価ローン 当社のかかわり リスクを抑えるために的確な残価を算出します



残価設定システムのグラフ

新たに自動車産業から金融産業への展開を考えています

当社はオークション事業で得たデータをもとに、独自のポータルサイト「ススろけっと」シリーズを開発し販売を開始しています。

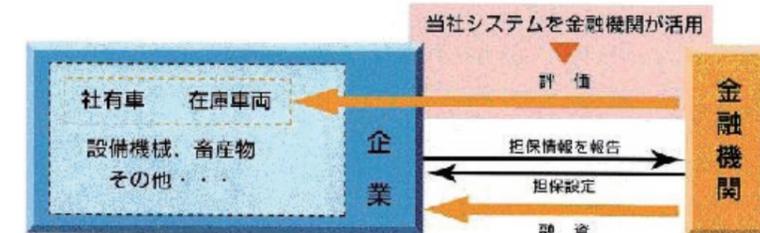
この商品は、昨年度第1弾として中小オートリース会社向けに開発したシステムでリース車両の将来価値や現在価値、電子カタログの出力などの機能をそなえ、日常業務の効率化のお役立ちをしています。また、地方銀行や自動車販売事業者へも業界ごとの仕様でシステム開発を進めています。

新たな事業展開として動産担保融資に照準を合わせています。これは、事業会社が保有する社有車や販売車両を担保に事業資金を得るもので経済産業省を中心に普及に乗り出しています。

当社の「現在価値算出システム（商品名：PV Doctor）」は車の資産（担保）価値を評価するもので注目を集めています。



動産担保ローン（ABL） 当社のかかわり 社有車や在庫車両の資産価値を評価します



トップインタビュー

Q) 当社の優位性についてお聞かせください

1992年の創業時に日本で走っているほぼ全ての乗用車の諸元(仕様)およびオプションを電子カタログ化し以降の新車情報もアップデータしています。現在では300万台のオークションデータを解析し車の資産価値を算出していますが、統計解析を始める前に電子カタログと投入データを摺り合わせることでデータの精緻化をはかっています。

このカタログデータの電子化と投入データの摺り合わせが、他社では容易にマネのできない当社の優位性の1つとなっています。

電子カタログ



Q) 40期実績を振り返って、どのような年でしたか

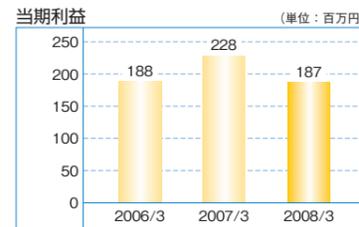
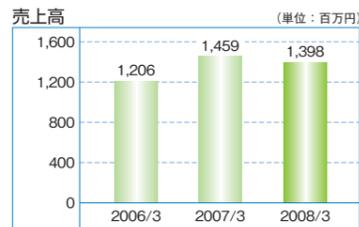
当期はサブプライムローンに端を発した米国経済の混乱がわが国経済に影響を与えています。自動車業界も販売は低調に推移し、なかでもガソリン価格の急激な値上りにより企業が経費節減のためリースアップ車を再リースするため当社のオークション市場への出品台数は66,652台、前期比3.6%の微増にとどまりました。

このため主力事業の車両再販業務支援は、売上高は1,143百万円 前期比0.2%と微増収となりました。

システム業務支援は、大手自動車メーカー系ファイナンス会社や信販会社と共同で開発したシステム商品の売上が寄与し、売上高は216百万円 前期比14.4%増と大幅な増収となりました。

一方、営業業務支援は車両買取サービスの実質的な撤退により、売上高39百万円 前期比69.8%の減収となりました。

この結果、当期は売上高1,398百万円 前期比4.2%減収、当期利益は187百万円 前期比18.1%減益となりました。

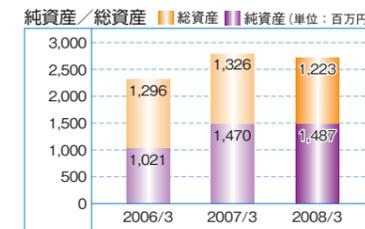


Q) 今後の業績について教えてください

今期の業績見込みは、わが国経済の先行き不透明感と個人消費の低迷が危惧されています。当社の主力事業の車両再販業務支援は出品台数が68千台、前期比2%の伸びを見込んでいます。しかし既存顧客である大手オートリース会社の合併による値下げ要請や売上単価の下落が予想され、売上高は1,025百万円 前期比10%の減収を見込んでいます。

一方、システム業務支援は新規システム商品を発売し更に既存商品の拡販に努めており、この分野での売上は375百万円 前期比73%の高い成長を見込んでいます。

この結果、第41期の売上高は1,400百万円、当期利益148百万円株主配当30円を見込んでいます。



Q) 最後に投資家へのメッセージをお願いします

当社は2006年4月にジャスダック証券取引所に上場して以来、「新しい価値の創造と安定した成長」を掲げてまいりました。業績も一時的な下降局面もありましたが概ね順調に推移しました。

当社は株主の皆さまへは配当での利益還元を経営の最重要課題の一つとして考えています。同時に経営体質の強化と将来の事業展開に必要な内部留保を確保し更なる成長をはかることで企業価値を高めて参りたいと考えています。

今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



財務諸表（連結）

連結損益計算書

(百万円)

区 分	当 期 (2007年4月1日から 2008年3月31日まで)	前 期 (2006年4月1日から 2007年3月31日まで)
売上高	1,398	1,459
売上原価	588	614
売上総利益	810	845
販売費及び一般管理費	468	459
営業利益	341	385
営業外収益	11	32
営業外費用	3	27
経常利益	349	390
特別利益	1	0
特別損失	3	7
税金等調整前当期純利益	348	384
法人税、住民税及び事業税	167	152
法人税等調整額	△ 6	3
当期純利益	187	228

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

区 分	当 期 (2007年4月1日から 2008年3月31日まで)	前 期 (2006年4月1日から 2007年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	226	339
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 196	△ 385
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 113	153
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額	△ 82	107
現金及び現金同等物の期首残高	1,762	1,655
現金及び現金同等物の期末残高	1,679	1,762

連結貸借対照表

(百万円)

区 分	当 期 (2008年3月31日)	前 期 (2007年3月31日)
(資産の部)		
流動資産	1,880	1,953
現金及び預金	1,605	1,638
売掛金及び営業未収入金	104	145
有価証券	124	124
たな卸資産	4	7
繰延税金資産	13	11
その他	29	26
貸倒引当金	△ 0	△ 0
固定資産	829	842
有形固定資産	155	159
無形固定資産	123	65
投資その他の資産	550	617
資産合計	2,710	2,796

(百万円)

区 分	当 期 (2008年3月31日)	前 期 (2007年3月31日)
(負債の部)		
流動負債	1,111	1,181
買掛金及び営業未払金	921	997
未払法人税等	94	88
賞与引当金	14	13
前受金	30	27
その他	50	54
固定負債	110	143
繰延税金負債	8	52
退職給付引当金	9	6
役員退職慰労引当金	92	84
その他	0	0
負債合計	1,222	1,325
(純資産の部)		
株主資本	1,423	1,349
資本金	191	191
資本剰余金	191	191
利益剰余金	1,046	966
自己株式	△ 6	—
評価・換算差額等	64	121
その他有価証券評価差額金	64	121
純資産合計	1,487	1,470
負債純資産合計	2,710	2,796

連結株主資本等変動計算書

当期 (2007年4月1日から2008年3月31日まで)

(百万円)

	株主資本					評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
2007年3月31日残高	191	191	966	—	1,349	121	1,470
連結会計年度中の変動額							
剰余金の配当			△ 107		△ 107		△ 107
当期純利益			187		187		187
自己株式の取得				△ 6	△ 6		△ 6
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額（純額）						△ 56	△ 56
連結会計年度中の変動額合計	—	—	80	△ 6	73	△ 56	16
2008年3月31日残高	191	191	1,046	△ 6	1,423	64	1,487

Point

① <財務活動によるキャッシュ・フロー>

■前期は、新株式発行による収入がありましたが、当連結会計期間では、配当金の支払額のみとなっております。

② <有形固定資産>

■九州入礼会場（ヤード）移転に伴い、設備投資を実施したための増加です。

③ <無形固定資産>

■シスロけっと、RV DOCTORの改修等による増加です。

TOPICS

沿革

- 1992年 7月 創業
入札会運営業務の受託開始
- 1993年 5月 神奈川県にて入札会を開始
- 1994年 11月 入札会運営業務をシステム化
- 1995年 5月 札幌市にリースアップ札幌を開設
10月 神戸市にリースアップ神戸を開設 (現 くるま市場神戸)
- 1996年 4月 千葉県にくるま市場千葉を開設
5月 入札会運営支援システム「しろくま」の販売開始
- 1997年 4月 佐賀県 (現 福岡県) にリースアップ九州を開設
- 1999年 3月 住商オートリース(株) (現 三井住友オートサービス(株)) と合併でスペース・ムーブ(株) を設立
12月 本社を東京都千代田区五番町に移転
- 2000年 8月 ジェイトランス(株) を設立 (現 ジェイ・コア(株))
- 2001年 3月 「しろくま車種DB」を開発
- 2002年 6月 愛知県にリースアップ名古屋を開設
- 2003年 5月 仙台市にミニデポ仙台を開設
- 2004年 2月 富山県にミニデポ富山を開設
4月 残価設定支援システム「しろくまRV Doctor II」を開発
広島県にミニデポ広島を開設
12月 買取価格算出支援システム「しろくまPV Doctor」を開発
- 2005年 9月 SBIリース(株)運営の「おくるまリース」「おくるまオンライン査定」へシステム提供開始
11月 日本カーソリューションズ(株)の独自ブランド入札会「NCS入札会」のOEM受注
- 2006年 4月 (株)アプラスと「APLUS Car-navi.com」を共同開発、システム提供開始
ジャスダック証券取引所へ上場
10月 昭和オートレンタリース(株)の独自ブランド入札会「SARL入札会」のOEM受注
12月 自動車リース事業者向けの営業支援システム「シスろけっとforオートリース」の販売開始
- 2007年 4月 スペース・ムーブ(株)の保有株式をカーズ・イット(株) (住商オートリース(株)子会社) に売却
7月 トヨタファイナンス(株)と「残価システム」を共同開発
9月 沖縄県にミニデポ沖縄を開設
11月 自己株式の市場買付を決議 (2007年11月1日～2008年5月31日)
- 2008年 1月 (株)オリエンコーポレーションに「残価算出システム」の提供開始

本社エントランス



くるま市場神戸



査定端末



株式の状況 (2008年3月31日現在)

発行可能株式総数 7,698,000株
 発行済株式の総数 3,570,000株
 株主数 319名

大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数	出資比率
有限会社タイムラー	1,710,000株	47.89%
千村岳彦	960,000	26.89
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	279,300	7.82
小堀元裕	185,400	5.19
千村久湖	90,000	2.52
関家一馬	58,000	1.62
小堀剛	30,000	0.84
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	23,100	0.64
アイエム投資事業組合	18,000	0.50
今井三義	9,000	0.25

会社の概要 (2008年3月31日現在)

会社概要

事業内容 オートファイナンス事業者向け業務支援
 設立 1968年4月1日
 創業 1992年7月1日
 資本金 191,445,000円
 代表者 代表取締役社長 千村 岳彦
 従業員数 32名
 所在地 〒102-0076
 東京都千代田区五番町12番地1 番町会館
 Tel.03-3234-1058 / Fax.03-5226-0041
 関連会社 ジェイ・コア株式会社

役員

代表取締役社長 千村 岳彦
 常務取締役 前田 格
 取締役 橋本 祐紀典
 取締役 内村 裕一
 社外取締役 神野 吾郎
 社外取締役 今井 三義
 常勤監査役 井坂 俊達
 監査役 永野 竜樹
 監査役 小島 晃